

Google が発表した「クッキーレスの未来像」に関する RTB House の対策について

今年の初め、Google で広告のプライバシーと信頼性に関する製品管理ディレクターを務めるデビッド・テムキンは、「[Charting a course towards a more privacy-first web](#)」にて、同社の立場をさらに詳しく説明した記事を公開しました。

「プライバシーサンドボックス」の提案が発表されて以来、RTB House は、この提案を正当な広告のユースケースのみをサポートする、長期的で持続可能なソリューションとなる可能性があるものと理解しています。

このため、ディープラーニング(深層学習)に基づいた最先端のマーケティングテクノロジーをグローバル展開する [RTB House](#) (本社:ポーランド・ワルシャワ、社長:ロバート・ディチコフスキー)では、1年以上前から、当社のプラットフォームを [FLEDGE](#) (すなわち、新しい TURTLEDOVE イテレーション) 及び、[FLoC](#) ベースのコホートに完全に対応したものにしよう取り組んできました。これらの主な目的は、当社のプラットフォームを利用する広告主の主要なニーズを Chrome チームにフィードバックすることでした。

当社の [PLTD](#) 及び、[OBTD](#) 拡張機能(エクステンション)は、ほぼそのままの形で FLEDGE の提案に組み込むことができ、使いやすさと有効性に大きな影響を与えています。また、これは Google が提案するバニラバージョンによるプライバシー保証を一切犠牲にすることなく実現しているという点も重要です。

当社は、技術的に可能な限り早く、2021年第2四半期に、広告主と共に FLoC ベースのコホートテストを開始したいと考えています。その後、Chrome チームと協力して FLEDGE の開発を進め、Chrome Origin Trials で完全に使用できるようにする予定です。

RTB House DSP は、Google が発表した[クッキーレスな未来世界のシミュレーション](#)にすでに参加しています。この変更は2022年以降に行われる予定ですが、当社の技術は、新しいプライバシー保護 API とサードパーティクッキーの完全な廃止に向けて既に準備ができています。

RTB House が活用するディープラーニングアルゴリズムは、アドテクノロジー業界に変革をもたらした、他に類を見ないソリューションです。当社は長年に渡る AI 研究の後に、AI フルファネルマーケティングソリューションを導入し、マーケティングの概念を変えました。これは、リアルタイムでユーザーのファネル段階を認識し、どの広告を表示するか決定することによって、セールスファネルを構築していくツールです。このような革新的なアプローチによって、リターゲティングとブランディングキャンペーンの両方で、優れた結果を出すことができるようになりました。

RTB House について

RTB House はポーランド・ワルシャワに本社を置き、最先端のマーケティングテクノロジーを世界のトップブランドに提供しています。RTB House はディープラーニング(深層学習)に基づいた世界初および唯一の広告入札エンジンを独自開発、広告主の短期・中期・そして長期の目標達成に貢献して

RTB HOUSE =

います。2012 年の創業以来チームは急速に拡大しており、現在 500 人以上のプロフェッショナルがニューヨーク、ロンドン、東京、シンガポール、サンパウロ、モスクワ、イスタンブール、ドバイ、ワルシャワなど 30 以上の拠点で、2000 を超える提携企業にサービスを提供しています。2018 年には深層学習をアルゴリズム全てに展開したほか、新しいマーケティングソリューションを發明・開発する AI マーケティングラボ、パフォーマンスに優れたダイナミックなディスプレイやビデオバナーを広告主に提供するソリューションを開発するクリエイティブラボを開設しました。

詳細は <https://www.rtbhouse.com/jp/> をご覧ください。